

令和4年4月15日

長崎市 行政・市議会議員の皆様

次世代ステークホルダー一同

市民連携フォーラムでの提案内容について

昨年11月14日の市民連携フォーラムにおいてお世話になりました。

市民連携フォーラムの開催にあたり、行政・市議会議員の皆様におかれましてはお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

昨年の会議では大変有意義な時間を過ごすことができました。我々若者一人一人が環境問題に対し、より深く考える大きなきっかけになったことは言うまでもありません。

前回の会議内容のまとめを会議の中で行うことができなかったため、行政・市議会議員の皆さまからのお話を聞いたうえで、我々の考えについてまとめましたので送付させていただきます。

【市民連携フォーラムで提案した内容】

1 市議会議員自身に取り組んでほしいこと

- (1) 市民を巻き込んで地球温暖化のことを優先して取り組んでほしい
- (2) 今実践している環境事業に使う補助金の増加とその内訳を明示してほしい

[要点]

- ・目先の課題ばかりに気を配るのではなく、将来的なことも見据え地球温暖化への対策に取り組んで欲しい。
- ・環境問題に取り組む企業や団体へ補助金を支給・増額し、その金額を明確に示していく事を検討、可能であれば実行できないか。

2 子供・若者向けに市議会議員に働きかけてほしいこと

- (1) 今存在している制度、「ながさきサステナスクール」をさらに活用すること
- (2) 「ながさきサステナプラザの活用」の促進

[要点]

- ・子供から親への影響力は大きい。子供やそれを通じた両親、地域コミュニティに対して環境について楽しく学べる環境を整えること。

3 長崎市(行政)に対する提案

- ・『地球温暖化対策実行計画』に関するわかりやすい説明&PRを実施
- ・県産品購入の呼びかけ・県産品を購入することでポイントの贈呈など
- ・県産品の購入を進めること
- ・実質CO2排出量ゼロの公共交通機関(路面電車・バス)を利用した観光地巡りツアーの企画

【当日の感想・反省点】

また、次世代ステークホルダーから出た当日の反省点や感想については、箇条書きとなりますが次のとおりです。

- ・今回の市民連携フォーラムは、若者の意見を直接行政・議員の方々に伝える初めての場であったため、テーマが多岐にわたりゴールが見えにくかった。これからはテーマを明確に絞ったやりとりを行っていききたい。
- ・今回参加いただけなかった議員の方々も含め、幅広い年齢層での会議をしていききたい。
- ・「数十年前からやらなきゃいけない」とは言っていたが、実際に行動に移せていない。これは具体的なビジョンが見えていないからなのか、いずれにしても実行していかなければならない。
- ・今回の市民連携フォーラムは知名度が低かったため、様々なツールを用い、幅広い年齢層にこの取り組みを知ってもらうための方法を模索する。
- ・今回のように大きな会場（市議会議場）で会議を行うのも大事なことであるが、それとは別に我々が定期的に行っている集まりにも招待し、ともに環境問題について考えていきたい。

【今後の次世代ステークホルダーの活動について】

前回の会議では、様々なテーマについて話し合いました。我々も実際に長崎を動かしているの方々のお話を聞き、私たちの提案の中には他人任せの無茶な内容も含まれていると感じました。

しかし、中には肯定的な意見も見られたため、これら私たちの提案が今後の長崎にどのように反映されるのか楽しみです。

そして何より、今回の市民連携フォーラムの目標である「若者の意見を届ける」ということは達成できたと考えています。

我々次世代ステークホルダーは、今後も皆様に意見を述べたり、協力をお願いしたりすることがあるだろうと思いますので、その際はよろしく願いいたします。

我々も、会議の際に言われた「若者と協力して」という言葉を信じています。行政・市議会議員の皆さまからのお声かけもお待ちしております。

若者だけが環境問題に取り組まなければならないということはありません。若者が率先して環境問題に取り組むという姿勢、それに感化された大人がまた若者を巻き込んだ取り組みを行う。こういったよいサイクルを生み出し、長崎に住むすべての人が同じだけ危機感を持ち行動していくことが重要だと考えています。

これからもお互いに長崎を素晴らしい街にしていきたいと思います。